

なんでもハンド (多品種製品の把持汎用ハンド)

(1)ねらい

今後の少子化が進む社会では現状手作業の組み付け作業も自動化する需要が出てくると考えられる、そのため、組み付け作業に使えるハンドを開発する。

CAN通信でモータを制御するという新しい技術を使用し、弊社のオリジナル技術に組み込むことで、新商品を開発する。

(2)コンセプト

人の手の動きに似せた動きをするハンドを考案し、掴むことでは把持が難しい形状の物体は包み込むことにより把持することを実現する。

このような機能のハンドで工業製品として成り立つものはまだ少ない。

介護用など福祉分野で開発されているものが最も普及しているが、弊社の言う工業製品とは使用頻度も使用環境も違う。弊社としては100万回の負荷試験に耐えるものを開発する。

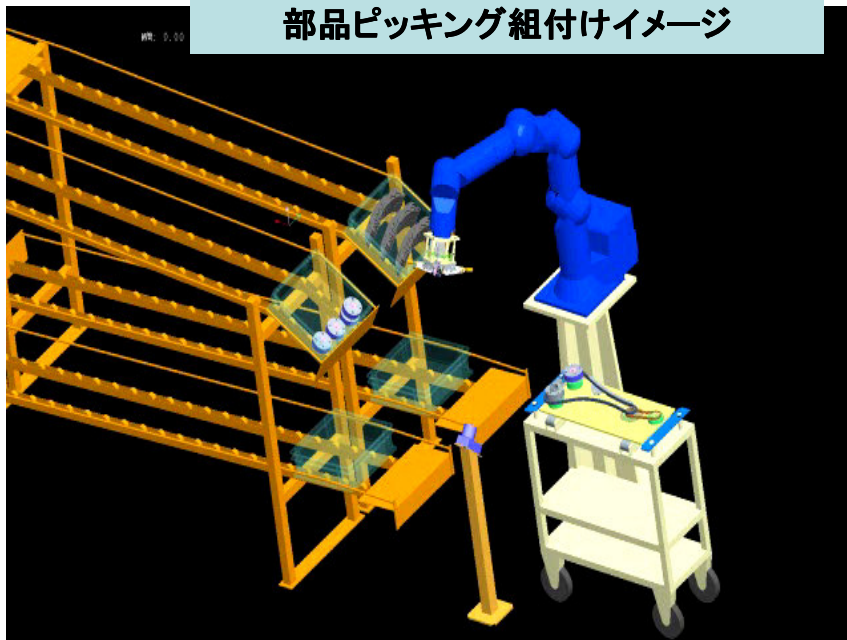
(3)周囲の状況

昨今、人の手を模擬したハンドが多くの組織で試作開発されている。

しかし、ハンド単体で非常に高価な価格帯であり、工業製品として普及しているものはない。

弊社は工業製品として普及させる低価格帯のハンドとして他社に先駆け設備に組み込める価格帯を狙い開発する。

部品ピッキング組付けイメージ



ハンド拡大イメージ

